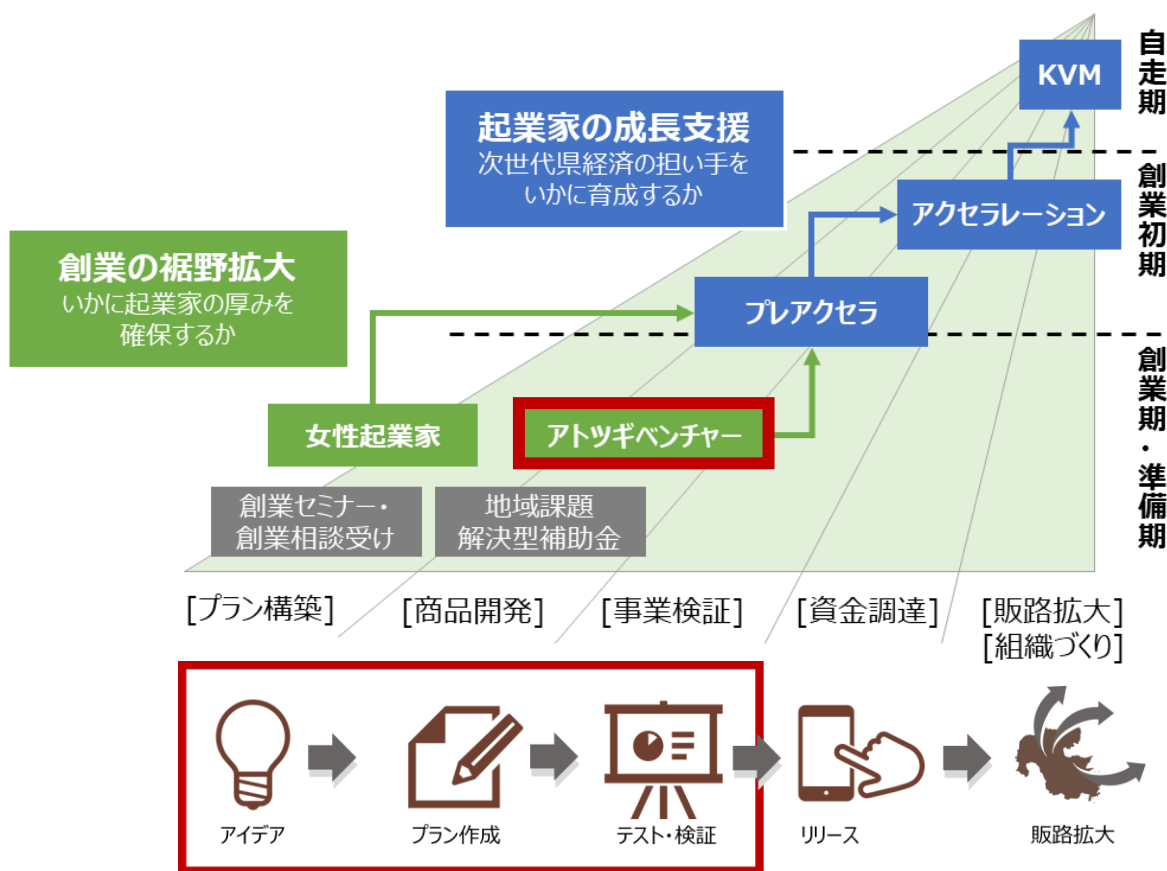


挑戦意欲ある大分のアトツギへ

GUSH!

大分県アトツギベンチャー創出支援事業

大分県のスタートアップ支援とGUSH!の位置付け



アトツギは スタートアップと並ぶ 次世代県経済の担い手

スタートアップ支援の施策体系に組み込むことで、ベンチャー・スタートアップマインドをもって家業存続・発展に取り組むアトツギを育成。

POINT

GUSH!の役割はインキュベーター

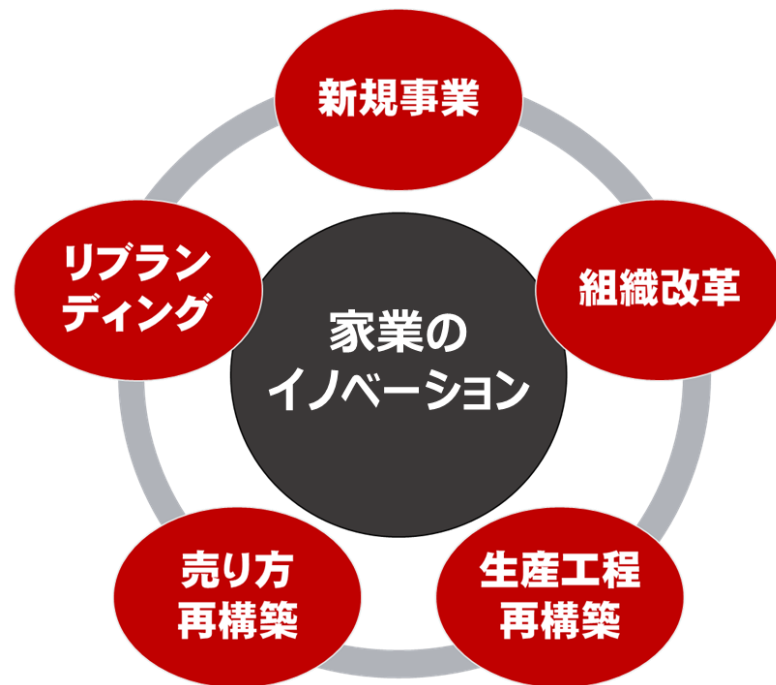
マインドセットの醸成、アイデア創発・プラン構築などファーストステップを踏み出すことに重点を置く。

GUSH!卒業後は、事業の進捗段階に応じてプレアクセラレーションプログラム（実証）、アクセラレーションプログラム（成長・拡大）へとステップアップすることを想定。

GUSH!とは何か

GUSH! 「湧出・噴出」

『地下深くから湧き上がる温泉のように、次世代を担うアトツギにも力強く湧き上がって欲しい』
という思いを込めた名称とした。



(備考：一般社団法人ベンチャー型事業承継の資料を参考に大分県作成)

1.若いアトツギに特化

「家業の5年後・10年後に向けた種まき」をテーマに、
あえて**39歳以下の若いアトツギ**に対象者を限定。
スタートアップと並ぶ次世代県経済の担い手として育成。

2.アイデア～最初の一歩目を集中支援

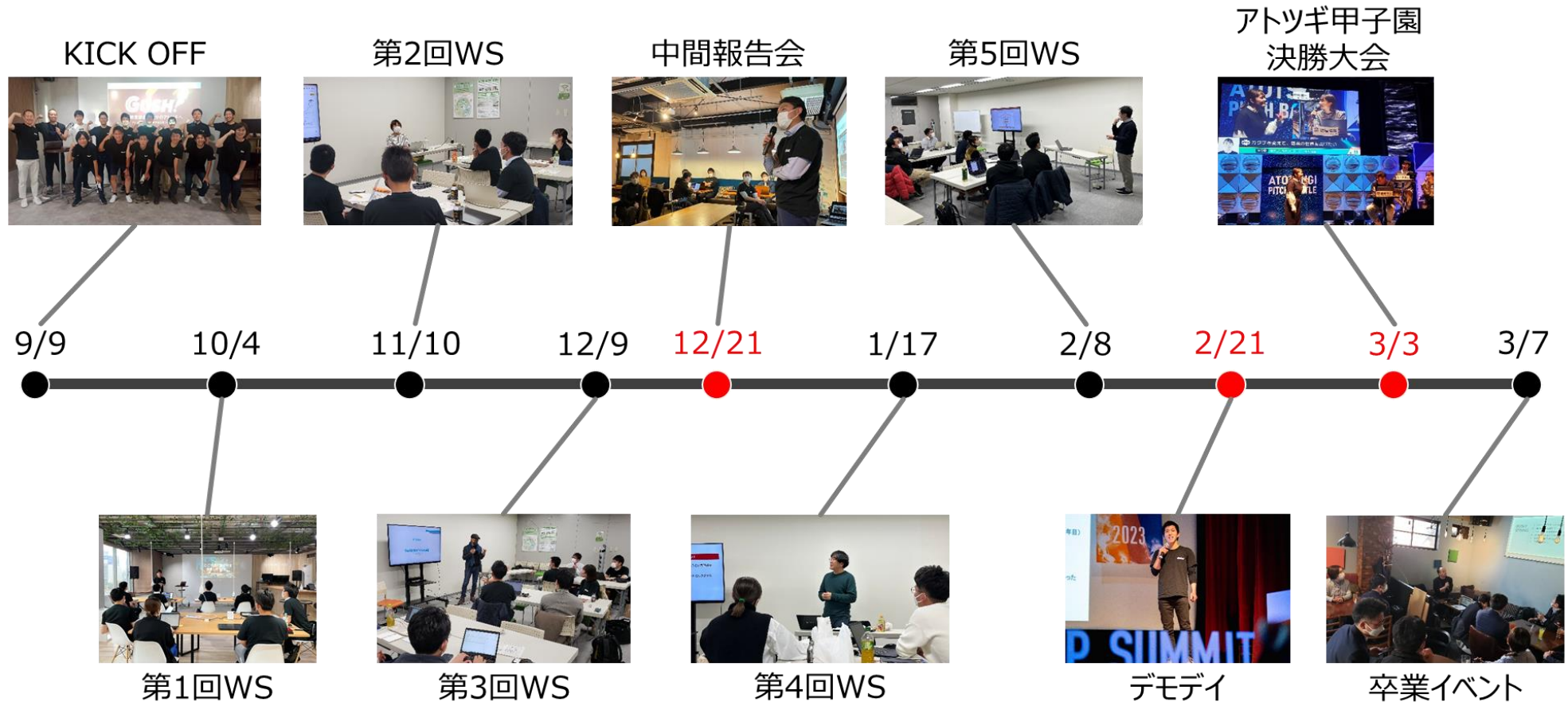
先輩アトツギによる講座・ワークショップ、個別フォローなどにより、
アイデア創発から具体化までを集中的に支援。
また、「最初の一歩目」のための資金として、**30万円/者の支援金**を
設け、挑戦に踏み切りやすい環境を準備。

3.同年代が切磋琢磨するコミュニティ形成

同世代でアトツギならではの課題に直面する同士だからこそできる
経験シェアなど、参加者が活発にやり取りするコミュニティを形成。
コミュニティの拡大を通じて大分県に**アトツギベンチャー文化**を醸成。

GUSH!初年度の取り組み

全5回のワークショップと個別フォロー、発表会等で構成



GUSH!初年度の取り組み

キックオフ～第2回ワークショップ

9/9 キックオフイベント

目的：採択者アイスブレイク・アトツギベンチャーとは何かを知る

講師：斎藤塗料株式会社 菅 彰浩 氏（第2回アトツギ甲子園優秀賞受賞）

情報発信の大切さ、TwitterなどSNSの活用方法などについて講演

アトツギ甲子園受賞による変化・影響等についても講話いただき、当時のエントリーシート等もシェア



10/4 第1回ワークショップ「家業の棚卸し～家業らしさと自分らしさ～」

目的：家業の強みと自身の興味の掛け合わせによるアイデア創発

講師：一般社団法人ベンチャー型事業承継 事務局長 大上 博行 氏

「自分らしさとは何か」とは何かを興味や経歴等から紐解き、家業の経営資源との組み合わせを検討
「夢（自身の目標）」と「志（社会に向けての目標）」を整理し発表



11/10 第2回ワークショップ 新規事業開発講座①

目的：発想の転換方法、新規事業のブランディング

講師：平安伸銅工業株式会社 代表取締役社長 竹内 香予子 氏

新事業は既存商品の棚を奪い合うことではなく「新たな意味・文化をつくること」であることを学ぶ
商品イメージに合わせた自身のブランディング（見た目や発信の方法）などを学ぶ



GUSH!初年度の取り組み

第3回～第4回ワークショップ

12/9 第3回ワークショップ 新規事業開発講座②

目的：「ユーザー」と「顧客」の違いを知り、自社がどんな事業をしているのか見つめ直す

講師：株式会社ミライエ 代表取締役社長 島田 義久 氏

「ユーザー」＝「自社が幸せにしたい対象」、「顧客」＝「お金を払ってくれる人」

1事業（会社）のユーザー対象は1つだけ、自社のユーザーと顧客を再認識し、その上で新規事業を発想



12/21 中間報告会「GUSH!NIGHT」

目的：採択者の現在地確認、アトツギ甲子園の勧奨

講師：後藤製菓 5代目 後藤 亮馬 氏



アトツギ甲子園に出場したことによる効果（頭の整理やメディア露出増加、ネットワーク拡大等）について講演
採択者それぞれが新規事業の素案をプレゼン、プログラム外のアトツギも参加し交流を促進



1/17 第4回ワークショップ 家業の課題解決～組織編～

目的：理想的な組織作り、自律型組織とは何かを知る

講師：木村石鹼工業株式会社 代表取締役社長 木村 祥一郎 氏

社員が自発的に考え・行動する自律的組織とは何か、その作り方について学ぶ
組織作りにおいて直面する採用・解雇のリアルを知り、自社における組織作りの基準について検討



GUSH!初年度の取り組み

第5回ワークショップ～卒業イベント

2/8 第5回ワークショップ 家業の課題解決～外部の巻き込み方編～

目的：アトツギのフェーズごとに巻き込むべき人が異なること、巻き込み方の手法を知る

講師：白神商事株式会社 代表取締役社長 白神 康一郎 氏

家業に戻りたて、新規事業創造のタイミング、経営者になったタイミング、それぞれの時期における巻き込むべき人についてシェア



2/21 成果発表会 Yukemuri Startup Summit 2023

目的：採択者が所属する会社の幹部や社員、金融機関等支援者に新規事業案を知ってもらう

講師：①株式会社筑水キャニコム 代表取締役社長 包行 良光 氏

②ベストリビング株式会社 代表取締役社長 中村 広樹 氏

ゲストによるトークセッション開催、今期採択者のうち8名が自社幹部や社員等に向け事業案をプレゼン



3/7 卒業・交流イベント「GUSH!SPRING」

目的：プログラム外のアトツギへ次年度参加の勧奨・プログラム締めくり



アトツギ甲子園ファイナリストの2名（田島山業 田島氏、村ネットワーク 應和氏）のセッションや採択者による今期の振り返り・感想シェア、プログラム外アトツギへ来期プログラム参加の勧奨を実施



GUSH!初年度の取り組み（番外編）



エントリー

全国**192**名
うち西日本ブロック
66名

書類審査

西日本ブロック
66名→**15**名

西日本
ブロック大会

西日本ブロック
15名→**5**名

決勝大会

全国から選ばれた
15名が頂点を
目指す！

大分県から
8名がエントリー
(全国**2**位の多さ)

GUSH!からは
4名がエントリー

大分県から
4名が通過
(全国**2**位)

大分県から
3名が通過
(全国**最多**)

九州からの決勝進出は
大分県のみ！

GUSH! 第一期生の活躍

(株)村ネットワーク
應和 春香氏



カタチを変えて、
野菜の世界を広げたい

田島山業(株)
田島 大輔氏



脱炭素×森の未来創り
『みんなの森プロジェクト』



GUSH!の成果

成果その1



自社経営陣や社員を前に 今後取り組むことをプレゼン

デモデイにおいて、参加者はスタートアップと同じ舞台に立ち、自社経営陣や社員、支援者らを前に今後の取り組みを宣言。実行に向けた一歩を踏み出した。

成果その2



同年代が活発にやり取りする コミュニティを形成

同期生が自主的にLINEグループを作るなど、アトツギ間での交流が活発化。第二期生募集においても、第一期生からの推薦者が複数名エントリー。

成果その3



第3回アトツギ甲子園に 2名のファイナリストを輩出

過去最多となる192名のエントリーの中、村ネットワーク應和氏、田島山業田島氏がブロック大会を勝ち抜き、全国15名のファイナリストに名を連ねた。

GUSH!第一期生の声（修了アンケートより※一部）



学び合うコミュニティが
できたことで、実践への
モチベーションにつながった。

プログラム外でも情報
交換が盛んに行われ、
交流しやすかった。

県内の熱いアトツギと
出会えた！アトツギ講師陣
が激アツだった！

豪華な講師陣、
GUSH!の魅力を積極的に
発信した方が良い。

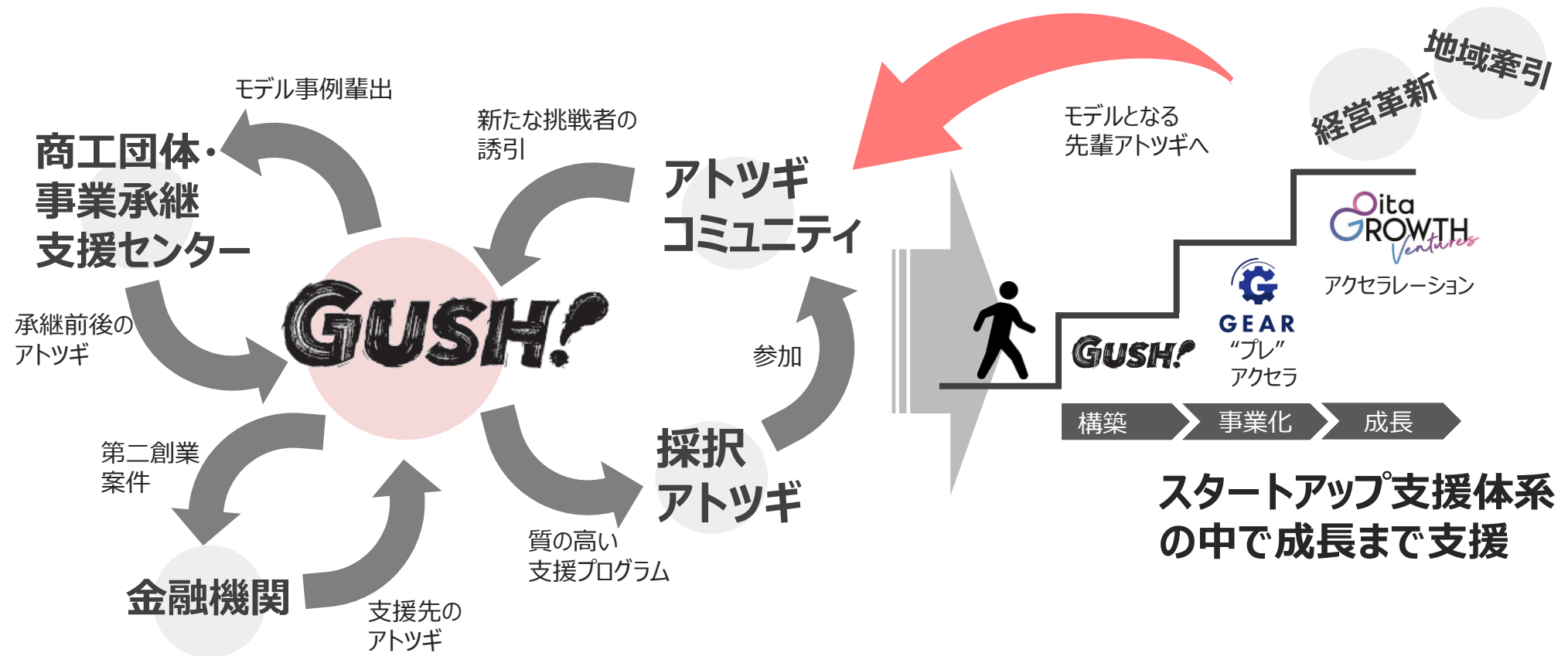
家業の発展を具体的に
イメージする機会になった！

様々な視点で学ぶことが
でき、自社の課題と照ら
して理解を深められた。

「アトツギになる」という
覚悟ができた！

課題と今後の展望

関係者を巻き込みながら**アトツギ支援のエコシステム**を構築



ご参考：GUSH! 創設まで

アトツギ・支援者との対話 を通じた企画立案

POINT

キーパーソンを押さえる

地域に必ずいる先輩アトツギ経営者、アトツギ特有の課題に対し解像度の高い支援者と対話を重ねることで、事業企画の解像度を高めた。

予算化までにやったこと

キーパーソンへの壁打ち
支援センターへの壁打ち
紹介もらった先へ訪問
オンラインイベント開催×2
(事業者へサウンディング)
事業承継支援との整理
etc.

プログラム参加者を どうやって見つける？

先輩アトツギからの紹介
経営革新認定企業
庁内からの紹介
商工団体・金融機関
事業承継引継ぎセンター
etc.

Key Person



中小企業庁 アトツギ甲子園 第1回ファイナリスト

R4年度アクセラレーション採択



後藤製菓5代目
後藤 亮馬氏

臼杵市で大分銘菓「臼杵せんべい」の製造販売を手がける。新ブランド「IKUSU ATIO」や、有機生姜を使用した「生姜百景」など積極的に新規事業を展開。

R2年度アクセラレーション採択



島田電子工業(株)
島田 直弥氏

中津市でセンサー製造を手がける。直弥氏はIoT事業開発チームとして、センシングデータを活用した工場向けの新事業「Device Watcher」を展開。



自治体による アトツギベンチャー支援の先駆者



福岡県スタートアップ支援担当(当時)
山岸 勇太氏

スタートアップ向けのアクセラレーションプログラム「ISSIN」に、アトツギ向けコース「CRAFTED」を創設。現在は、アトツギ支援を専門に手がける一般社団法人ベンチャー型事業承継に所属。